

史料 番号	表 題	年 月 日	作 成 者 (差出人)	宛 先	注 記	形 態	数 量
1	中間唐戸上家御普請ニ付材木・ 足シ釘・足シ瓦・油・石灰入用 諸品買立代錢并左官・石屋賃錢 共書上帳 控	文政13年寅閏3月	吉田村 堀川受持 円蔵・木守触普請方 正三郎・蛭住触口 喜太郎・上々津役触口 文三	遠賀・鞍手御免方御役所		長帳	1
2	中間村抱惣社山唐戸上家御建替 御普請材木仕廻目録書上帳 控	文政13年寅閏3月	堀川受持吉田村 円蔵・立屋敷村普請方 正三郎・蛭住触口 太四郎・上々津役触口 文三	遠賀・鞍手御免方御役所		長帳	1
3	寿命唐戸天井下地岩御手入一切 控	天保3年辰3月	堀川受持 円蔵		寿命壁石図2通を付す。	小横帳	1
4	中間・寿命両唐戸并五間唐戸来 戊春御仕替御普請材木諸品願上 帳	天保8年酉6月	堀川受持吉田村 円蔵	遠賀・鞍手御郡御役所 (頭山伝)	(奥書)「下底井野村大庄屋 有吉長平 同年10月聞届」	長帳	1
5	遠賀郡岩瀬村堀川筋板橋御掛替 御普請ニ付挽立材木大鋸賃糧米 代并ニ山所より普請所迄出賃村 方出錢分共ニ書上帳	天保8年酉9月	岩瀬村組頭 次八・同七平・同彦五郎、同村庄屋 喜左衛門・若松村普請方 平右衛門・古賀村同 善次郎	遠賀・鞍手御郡御役所 (頭山伝)	(奥書)「下底井野村大庄屋 有吉長平」	長帳	1
6	辰六月旱魃ニ付寿命川口堰立出 勤日記	安政3年6月	堀川受持 藤市			小横帳	1

史料 番号	表 題	年 月 日	作 成 者 (差出人)	宛 先	注 記	形 態	数 量
7	中間・寿命両所唐戸并中間宗社 山下水吐唐戸板堰来未春御仕替 材木諸品願上帳	弘化3年午6月	吉田村堀川請持 平 蔵・同 藤市、古賀村 普請方 善次郎	遠賀・鞍手御郡代御役 所 (水野貞之進・久田七 之丞)	(奥書)「下底井野村大 庄屋 有吉与右衛門 同年10月聞届」	長帳	1
8	中間・寿命両所唐戸并中間宗社 山下水吐唐戸板堰当未春御仕替 材木諸品御普請仕廻目錄書上帳 ひかへ	弘化4年未4月	吉田村堀川受持 平 蔵・藤市、下底井野村 普請方 喜平	遠賀・鞍手御郡代御役 所 (水野貞之進・喜多村 嘉兵衛)	(奥書)「下底井野村大 庄屋 有吉与右衛門」	長帳	1
9	嘉永七寅年分 堀川水下拾六ヶ 村催合				鎮守社祭礼・雇夫賃銭 など諸入目の算用・割 賦。	書綴	1
10	遠賀郡岩瀬村庄屋・組頭乍恐御 願申上口上之覚	同年6月	岩瀬村組頭 次八・七 平・彦五郎、同村庄屋 喜右衛門	遠賀・鞍手御郡御役所 (川越又右衛門・頭山 伝)	中間村悪水吐溝筋切広 めにより水損難洗。以 前のとおり仕据替願 出。	書綴	1
11	〔書状〕	4月5日認置候	同(筑前底井野) 清四 郎	於筑前底井野 小松屋 清次郎	大宮司・善左衛門へ取 替金の件ほか。 (包紙裏書)「従備前 四月五日認置候」	継紙	1
12	〔書状〕	8月4日	上村七助	庄屋 喜衛門(ママ)	先日相談の米2俵御渡 願。	切紙	1
13	遠賀郡堀川□□(破損)記	慶応3丁卯春	長井鶴民 榎本喜右衛 門良房		「比書遠賀郡吉田村堀 川請持一田藤市所持之 分、慶応3丁卯春写 之」	継紙	1

史料 番号	表 題	年 月 日	作 成 者 (差出人)	宛 先	注 記	形 態	数 量
14	堀川筋諸記録之内より抜書	慶応3丁卯□ (破損) 之	鞍手郡長井鶴村 榎本 喜右衛門良房		「安政4巳年一田藤市 撰書ニ有之分、尤同家 より直ニ借用して□□ (虫損)」	継紙	1